

校長先生の日記③⑩

10月19日 学校づくりを考える



「学校づくりを考える日」が開催されました。今年度は、10年後20年後にこの信濃町に貢献できる子どもたちになるために必要な力を決めだし、授業改善に取り組んできました。ICTの活用はもちろんのこと、自分で課題を見つけて探究する力をつけられる授業をと取り組んできました。そんな子どもたちの様子を保護者や地域のみなさんにみていただきたいということで、授業参観を計画しました。また、私たちが授業改善のための指導をいただいている、信州大学の佐藤和紀先生の講演を子どもたち、保護者、地域のみなさんのお聞きし、これからの教育について理解し、学校全体、地域全体とともに実現に向けて力を合わせたいと考えました。その後は、保護者、地域のみなさんと一緒に信濃町、教育、地域との連携などのテーマで語り合うことも取り入れました。この1日で、これからの信濃小中学校のめざす姿をご理解いただくとともに、こんなに頼もしい子どもたちが信濃町には大勢いて、頑張っていること、夢も希望ももっている、頼りしてほしいという願いも伝えることができました。

多くの地域のみなさんにご参加いただき、本当にありがとうございました。「子どもたちがこんなにいろいろ考えてくれるなんて、本当に嬉しい」「これから教育について、少し分かった」など感想をお寄せいただきました。

子どもたちからも、「どうしてこんなにタブレットを使うのかと思っていただけ、理由が分かりました。もっと使えるように、授業でもしっかり使いたいと思います」など前向きな感想が語られました。本当に嬉しかったです。

学校を中心に人々が集い、大人も子どもも一緒になって、この信濃町を盛り上げていけるようになったら本当にいいなと心から思いました。子どもたちとともに、これからも準備を進めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。地域のみなさんも、学校を訪ねてください。そして、子どもたちの様子をみてください。いつでも大歓迎です。



人権月間が始まります

高等部のみなさんのクラス紹介新聞が掲示されていました。こんな新聞が作れるテクニックにまずは感心してしまいました。また新聞の中身がとても温かく、クラスの自慢がたくさん書かれていてほっこりした気持ちに

なりました。11月は「人権月間」です。いつも差別やいじめがない信濃小中学校をめざしています。改めて、信濃小中学校の全員が幸せに生活できているか、振り返る大切な機会としたいと思います。